

2024年度 シラバス(授業内容)

昼間部 1 年 鉄道科 鉄道・交通サービスコース

1.シラバスとは

シラバスは、授業の内容を予め受講者に知らせるもので、到達目標・使用教材・単位数等が記載されています。当校の教育理念は「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」です。ホスピタリティとはお客様をおもてなしすること、心配り・気配り・思いやりを意味します。相手の立場に立って考え、行動できる人間を育成することを念頭にカリキュラム編成をしています。同時に卒業後、即戦力として活躍できるよう専門分野においても基礎・応用からの実践教育を取り入れたカリキュラムとなっています。

2.科目編成(カリキュラム)の概要

科目編成は、共通科目と専門科目です。

全科目が必修科目となり、卒業にはすべての単位取得が必要です。

(1) 共通科目: 人間力を高めること、職業人として必要なビジネス教養を身に付ける科目構成です。

(2) 専門科目: 各科各コースの専門分野に即した科目構成です。



学校法人 中村学園

国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

2024 年度昼間部 1 年 鉄道科鉄道・交通サービスコース

進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通科目	6	8	2	3	19
	専門科目	20	21	17	14	72
合 計		26	29	19	17	91

各期全単位を取得すること。

履修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期								
	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数					
共通科目	ホスピタリティ I	演	1	15	ホスピタリティ II	演	1	15													
	キャリアデザイン I	講	2	30	キャリアデザイン II	講	5	75													
	ビジネスコミュニケーション I	講	1	15									ビジネスコミュニケーション II	講	1	26					
	パソコン I	演	1	15	パソコン II	演	1	15	パソコン III	演	1	26	パソコン IV	演	1	26					
	Let's Speak English I	演	1	15	Let's Speak English II	演	1	15	Let's Speak English III	演	1	26	Let's Speak English IV	演	1	26					
	小計		6	90	小計		8	120	小計		2	52	小計		3	78					
必修科目	鉄道基礎 I	講	2	30	鉄道基礎 II	講	3	45	鉄道基礎 III	講	2	52	鉄道基礎 IV	講	2	52					
	鉄道業務実務 I	演	3	45	鉄道業務実務 II	演	2	30	鉄道業務実務 III	演	2	52	鉄道業務実務 IV	演	3	78					
	鉄道イベントプロモーション I	演	2	30	鉄道イベントプロモーション II	演	2	30	鉄道イベントプロモーション III	演	2	52	鉄道イベントプロモーション IV	演	2	52					
	時刻表実務 I	講	2	30	時刻表実務 II	講	2	30	時刻表実務 III	講	1	26	SPT	演	1	26					
	自己表現 I	演	1	15	自己表現 II	演	1	15	自己表現 III	演	1	26	自己表現 IV	演	1	26					
	国内観光資源 I	講	2	30	国内観光資源 II	講	2	30	国内観光資源 III	講	1	26	国内観光資源 IV	講	1	26					
	国内管理者対策講座 I (国内旅行実務)	講	2	30	国内管理者対策講座 II (国内旅行実務)	講	2	30	国内管理者対策講座 III (国内旅行実務)	講	2	52	国内管理者対策講座 IV (国内旅行実務)	講	2	52					
	国内管理者対策講座 II (乗法・約款)	講	1	15	国内管理者対策講座 III (乗法・約款)	講	1	15	国内管理者対策講座 IV (乗法・約款)	講	1	26	国内管理者対策講座 V (乗法・約款)	講	1	26					
	国内管理者対策講座 IV (乗法・約款)	講	1	15	国内管理者対策講座 V (乗法・約款)	講	1	15	国内管理者対策講座 VI (乗法・約款)	講	1	26	国内管理者対策講座 VII (乗法・約款)	講	1	26					
	観光業界ガイド I	講	1	15	観光業界ガイド II	講	2	30	観光業界ガイド III	講	1	26	観光業界ガイド IV	講	1	26					
	鉄道CS接客演習 I	講	1	15	鉄道CS接客演習 II	講	1	15	鉄道CS接客演習 III	講	1	26	鉄道CS接客演習 IV	講	1	26					
	ハリアプルー	演	1	15	ハリアプルー II	演	1	15	ハリアプルー III	演	1	26	ハリアプルー IV	演	1	26					
	デジタルスキル I	演	2	30	デジタルスキル II	演	2	30	デジタルスキル III	演	2	52	デジタルスキル IV	演	2	52					
									Station English I	演	1	26	Station English II	演	1	26					
									卒業制作 I	演	1	26	卒業制作 II	演	1	26					
	小計		20	300	小計		21	315	小計		17	442	小計		14	364					
	計	1年前期 合計		26	390	1年後期 合計		29	435	2年前期 合計		19	494	2年後期 合計		17	442				
		1年 合計				2年 合計				2年 合計				2年 合計							
						55				825				36				936			
		2年間 総合計																91	1,761		

行事・研修	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
	オリエンテーション スポーツ大会	就職ガイダンス 中村学園祭	オリエンテーション スポーツ大会	中村学園祭

共通科目

シラバス(授業計画)

科目名	ホスピタリティⅠ・Ⅱ		科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース		授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	黒坂 明子			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無			
授業概要	ホスピタリティマインドとは「相手の立場に立って考え、相手を慮る心」です。お客様に接客するうえで必要な知識やマナーの実践に、ホスピタリティマインドを活かせるようサポートします。心理学の知見を応用し様々な角度から自分自身を振り返り、自己肯定感や行動変容の重要性を学びます。ワークを通して「気づき」を促しながら人間力を高め、気持ちよくおもてなしが発揮できるよう、ITHBの教育理念に基づいた「ホスピタリティ豊かな人材の育成」のゴールを目指します。			
到達目標	あらゆるタイプの人とも上手に交流できるようになる 周りから見られている自分のイメージを確認し、自己改善を図る おもてなしの心を形にできるようになる			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	ホスピタリティマインド養成ワークブック (株)ホロス人材開発研究所)			
授業計画	<p>【ホスピタリティの理解 「プラスの視点」の重要性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホスピタリティとは・・・ ・他己紹介による自分表現 ・マイナス思考とプラス思考 ・マイナス思考に陥った場合の対処行動 <p>【ホスピタリティマインドの確立】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者理解・他者受容 ・価値観とは？・グループ討議 ・自分の物の見方や考え方を知る ・相手を受け入れることの重要性 <p>【ホスピタリティマインドの発揮 豊かな触れ合いのために・・・】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストローク(触れ合い)の理解 ・ストローク演習・DVD観賞 ・自画像と他画像の違い・他者からの自分のイメージを知る ・気づきと自己改善の勧め <p>【ホスピタリティサービスの本質】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モノ的なサービスとヒト的なサービス・CSと顧客心理 ・ホスピタリティ産業について ・ディズニーにおけるおもてなし ・「おもてなしの心」を「形」に・・・ 			
成績評価 方法	試験、授業態度、出席日数 (下記評価基準に基づく)			
成績評価 基準	A: 評価試験 85 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験 60 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可			

学生へのメッセージ

社会人になる前の貴重な学生生活が始まります。
新たな友人との出会いと、様々なことへのチャレンジを通して、自分を今より素敵に変えてみませんか？

シラバス(授業計画)

科目名	キャリアデザイン I・II			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：5単位	時間数	前期：30時間 後期：75時間
担当	就職担当				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	<p>専門学校への入学は、就職を前提とした各人の進路を見出すことが大きな意義です。就職をする上で最も重要なことは自分を知ることです。当授業では、職業人としての心構えを身に付け、ツールを使用した自己分析を行い、自分の強みや他者理解について学びます。</p> <p>就職活動開始までに必要な事項を学び、演習を通じて就職活動本番で結果を出せるよう自信をつける授業です。就職活動は各自の目指す業界、企業により開始時期が異なるため、授業をベースとしながら個々の進行に応じて個別にバックアップし、内定に向けたサポートを行います。</p>				
到達目標	<p>1、社会人へのステップに繋がる職業人としての基礎知識とマインドを身につける。</p> <p>2、学生生活や人間関係、将来の仕事などで役に立つ自分の強みについて知る。</p> <p>3、就職活動の基本的な考え方を理解し、実践に備える。</p> <p>4、内定を勝ち取るための準備を進め、就職活動を通じて社会で通用する人材を目指す。</p>				
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	<p>「LIFO テキスト」(株ビーコンラーニングサービス)</p> <p>「個人レポート」(株ビーコンラーニングサービス)</p> <p>「質問紙」(株ビーコンラーニングサービス)</p> <p>専門学校生のための就職内定基本テキスト(日本能率協会マネジメントセンター)</p>				
授業計画	<p>【職業とキャリア】</p> <p>人はなぜ働くのか？仕事と職業、職業の三要素、働くことの意義と目的</p> <p>職業の形態と種類、職業選択と自分がめざす生き方、職業人としてのマインド、生活の自立と自律、最近の社会事情</p> <p>【自己理解】</p> <p>LIFOの基本的考え方の理解、コミュニケーションと自己理解の関係、自己理解3つの方法、自己点検実施と発表、ライフライン記入、自己分析シート記入、LIFO(ライフオ)質問紙記入と採点、4つのスタイルの具体的理解、診断分析、個人レポート作成、自分の強みの整理、自己分析シート(強みの過剰使用)への落とし込み、4つのスタイルとアプローチ、失敗経験と分析、自分のスタイルと他者スタイルの理解</p> <p>【就職活動実践】</p> <p>就活の流れ、就活サイト登録と使用方法</p> <p>求人票の見方、雇用形態、社会保険、年金制度</p> <p>自己分析、他己分析</p> <p>自己PR作成、履歴書・ES作成ポイント、企業研究、志望動機対策</p> <p>面接演習、GPワーク試験対策、小論文演習、SPI対策と模擬試験演習、企業セミナー</p>				
成績評価 方法	<p>期末試験の得点ならびに出席率がメインとなります。平常点は就職活動(進路活動)の取り組む姿勢、授業態度、提出物などが評価基準です。</p>				
成績評価 基準	<p>A: 評価試験 85 点以上 かつ 出席率 90% 以上、平常点優</p> <p>B: 評価試験 65 点以上 かつ 出席率 80% 以上、平常点良</p> <p>C: 評価試験 40 点以上 かつ 出席率 60% 以上、平常点可</p> <p>D: 評価試験 40 点未満、出席率 60% 未満、平常点不可</p>				

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	ビジネスコミュニケーション I			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	講義
実施期	1年 前期	単位数	前期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間
担当	井部・橋本・担当講師				
	実務経験 : 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無				
授業概要	目的: 観光業界の社会人として最低限のビジネスマナーを理解・実行できる事。 概要: ビジネスシーンで誰もが当たり前に行動している挨拶や言葉遣い、接遇を学びます。				
到達目標	1 年次夏休みの実習や後期から開始される就活で、自信をもって行動できるようになる。				
検定資格	なし・必修・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称: 秘書検定				
教科書 教材	秘書検定合格教本2・3級 新星出版社				
授業計画	<p>【挨拶と人間関係】 挨拶の重要性 第一印象の重要性 相手に良い印象を与えるコツ</p> <p>【社会人心得】 自己管理・4つのポイント 社会人としてのルール 報告・連絡・相談</p> <p>【敬語を使いましょう】 敬語の種類 正しい敬語の使い方 接遇用語の表現 接遇の立ち振る舞い(受付、名刺の受け取り方)</p> <p>【実践! ビジネスコミュニケーション】 上手な聞き方、話し方 命令・指示、忠告・注意の受け方 電話の受け方と取り次ぎ方、メモの残し方 領収書の記入方法</p>				
成績評価 方法	評価試験には期末試験の他、演習試験や小テストを含みます。				
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 85%以上、平常点優 B: 評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	パソコン I・II		科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース		授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数 前期：15 時間 後期：15 時間
担当	担当講師			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	パソコンスクールにてインストラクターとして実務経験あり		
授業概要	現代社会において、基本的なパソコン操作は必須スキルです。 基礎的なPC操作を理解するとともに、Word・Excel の基本操作を修得します。			
到達目標	アプリケーションの起動やファイル操作をはじめ、Word・Excel を使用した簡易的な文書作成ができることを目標とします。 また、文書作成において重要なタッチタイピングスキルを“ホームポジションを意識して両手で文字が打てるレベル”まで伸ばしましょう。			
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称: マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)検定・Word 文書処理技能認定試験 Excel 表計算処理技能認定試験・PowerPoint プレゼンテーション技能認定試験			
教科書 教材	・「30 時間アカデミック情報リテラシー Office2016 」(実教出版) ・ USB メモリ			
授業計画	<p>【 PC 基本操作の確認 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アプリケーションの立ち上げや、基本的なファイル操作 ・ホームポジションを意識したタッチタイピングの練習 <p>【 Word 基本作業 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章入力(ベタ打ち)と併せて、文字装飾を行う ・ワードアート、図形描画、テキストボックス等を利用し、表現力のある文書ファイルを作成する ・ビジネス文書の基礎と仕組みを学び、挨拶文の挿入、入力オートフォーマット、表作成等を使いこなす <p>【 Excel 基本作業 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ入力の基礎を学ぶ ・数式を用いた計算をはじめ、基本的な関数を利用した表計算機能を使いデータファイルを作成する ・関数を利用して作成したデータをグラフへ変換し、視覚的分析の方法を学ぶ 			
成績評価 方法	※授業への参加度や授業態度などを加味して、平常点は 20 点満点とする。(上記評価点数に組み込まれる) ※Word・Excel 共に、文書ファイル作成を課題として提出する。			
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 90%以上、課題提出、平常点 15 点以上優 B: 評価試験 70 点以上、出席率 80%以上、課題提出、平常点 10 点以上良 C: 評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、課題提出、平常点 5 点以上可 D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、課題未提出、平常点 5 点未満不可			

学生へのメッセージ

現代社会において、基本的なパソコン操作は必須スキルです。さまざまな企業で日常的にパソコンを使用して業務を行います。「スマートフォンの方が使いやすい」「スマートフォンなら文字を早く打てる」という意見もありますが、就職してから戸惑わないよう、前向きに学習してみましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	Let's Speak English I・II			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	語学担当講師				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	Anyone can speak English with foreigners with some effort. Simple key sentences and concepts are practiced through conversation, listening, and activities. Classes are divided by level, but all classes are taught in English only, with a native English speaker.				
到達目標	Communication in simple English about everyday topics. Students will be able to communicate with people from different countries and cultures.				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	Speak Now Level 1 Student Book (Oxford)				
授業計画	<p>【New Friends】 Greetings, self-introductions, asking for personal information.</p> <p>【Interests】 Music, movies, time, sports.</p> <p>【People】 Family, personality, clothes.</p> <p>【Daily Life】 Routines, sequences, be -ing.</p>				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 80%以上、平常点良</p> <p>C: 評価試験(理解度)50%以上、出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 評価試験(理解度)49%以下、出席率 60%未満、平常点不可</p>				

学生へのメッセージ

Don't be shy! Do your best!
Use this great chance to practice speaking as much as possible in a small group.

鉄道・交通サービスコース

専門科目

シラバス(授業計画)

科目名	鉄道基礎Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期 : 2単位 後期 : 3単位	時間数	前期 : 30時間 後期 : 45時間
担当	菅 亮介				
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	鉄道業界にて駅務、車掌として実務経験あり。			
授業概要	鉄道を運行する仕組み、鉄道信号、保安装置の解説、電化区間、車両のしくみなどの学習 運転専門用語、鉄道専門用語を集中して学習します。 鉄道について、趣味的な知識ではなく業務的な知識を学びます。				
到達目標	保安装置、車両等の種類・運転用語の意味と理解・現場についての知識の習得。 鉄道で働く上で知っておくべき最低限必要な知識を習得。				
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	よくわかる最新鉄道の技術と仕組み				
授業計画	<p>「よくわかる最新鉄道の技術と仕組み」から、鉄道に関する基礎的な知識を学びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道の基本について ・車両について ・鉄道の運転について ・駅について ・きっぷについて ・電気・信号設備について ・線路について ・車両基地について ・これからの鉄道について ・世界の鉄道 				
成績評価 方法	評価試験は筆記試験で100点とし、授業参加意欲を平常点として評価する。				
成績評価 基準	A: 評価試験 90点以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験 70点以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 評価試験 40点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 40点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

趣味で鉄道の知識を持っている人も、鉄道をあまり知らない人も、1から正しい知識を身につけましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	鉄道業務実務Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期 : 3単位 後期 : 2単位	時間数	前期 : 45時間 後期 : 30時間
担当	響 丈				
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	鉄道業界にて駅務、車掌、運転士として実務経験あり。			
授業概要	安心・安全・正確が当たり前の日本の鉄道ですが、それは鉄道掛員の地道な業務で成り立っています。駅掛員、車掌の業務、運転士の業務の肝とは何なのか、授業で知識を習得していただきます。また、学校内の施設を活用して、アナウンスや基本動作などを体験し、鉄道の仕事の本質を知っていただきます。				
到達目標	鉄道会社に就職するために、鉄道会社に必要とされるような人材とはどんな人なのかを理解し、体現する。				
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	プリント				
授業計画	<p>【アナウンス】 アナウンスの目的 聞こえるアナウンスのための発声法 日本語の基本 アナウンスの内容を考える アナウンスの実践 応用を利かせたアナウンス実践 アナウンスの際の専門用語 異常時のアナウンス 駅掛員・車掌のアナウンスの違い</p> <p>【基本動作】 基本動作とは 基本動作を守るために 基本動作を考える 基本動作を用いた乗務訓練 異常時の対応方</p>				
成績評価 方法	評価試験は実技・筆記試験の合計で100点とし、授業参加意欲を平常点として評価する。				
成績評価 基準	A: 評価試験 90 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

鉄道で働くこととはどういうことなのか、鉄道会社に入るためにはどんな考え方・イメージを持てばよいのかをしっかりと理解し、鉄道会社への就職を目指しましょう！

シラバス(授業計画)

科目名	鉄道イベントプロモーションⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数	前期：30時間 後期：30時間
担当	響 丈				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	鉄道業界にて駅務、車掌、運転士として実務経験あり。			
授業概要	各鉄道会社では、自分の会社を利用していただくための様々な鉄道イベントを企画し、行っている。各イベントを研究し、自分たちで鉄道イベントを考え、鉄道会社や旅行会社へイベントを提案する。必要な知識の習得とコミュニケーション能力・経営の視点を学ぶ。				
到達目標	プレゼンテーション能力を身につける。 各会社さまと協力し、実際にイベントを開催する。				
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	<p>【鉄道会社が行う様々なイベントを知る。また、そのイベントから得られる効果を知る。】 鉄道会社が行う様々なイベントを知り、その効果を考える。 その中で対外的な経済効果や集客について学ぶ。</p> <p>【実際のイベントに参加する。】 各グループを作り、自分たちで参加したいイベントや興味のある鉄道会社の企画に参加してくる。</p> <p>【イベントを研究・企画する。】 グループごとに分かれ、プレゼンテーションに向けて様々なイベントを研究・企画する。</p> <p>【イベントの提案準備・発表】 自分たちでイベント企画を作成し、プレゼンの準備を行う。</p> <p>【イベントを開催する】 鉄道会社、イベント会社と協力し、イベントを開催する。</p>				
成績評価 方法	授業内でのプレゼンテーションの内容や、取り組みを点数化し成績評価する。				
成績評価 基準	<p>A: 授業理解度90%以上、出席率 90%以上、平常点良好</p> <p>B: 授業理解度70%以上、出席率 70%以上、平常点良好</p> <p>C: 授業理解度 40%以上、出席率 50%以上、平常点普通</p> <p>D: 授業理解度 40%未満、出席率 50%未満、平常点不良</p>				

学生へのメッセージ

この授業はひとりひとりのアイデアと、チームワークを必要とします。ひとりひとりが手抜きをせず、チームで協力して取り組みましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	時刻表実務 I・II		科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道交通サービスコース		授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期 : 2 単位 後期 : 2 単位	時間数 前期 : 30 時間 後期 : 30 時間
担当	中山 健也			
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	鉄道業界にて駅務、車掌として実務経験あり。		
授業概要	旅行・鉄道に関連する業務に従事するものにとって必要不可欠な時刻表の基本的な使用方法を習得していきます。初めて時刻表に触れる学生が多いと思いますが、心配することはありません。初めて学習する学生が理解できるように、基礎的な問題から順序立てて、進めていきます。ただ、ここで学んだことを後期、2 年次前期と引き継いで、最終的には業務従事者のレベルまで引き上げていきますので、油断することなく、身につけていってください。			
到達目標	業界で必要とされる時刻表実務能力の習得を最終目標とする。			
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称: 国内旅行業務取扱管理者			
教科書 教材	「JR時刻表」(交通新聞社)			
授業計画	<p>【時刻表の構成】 INDEX 索引地図の見方・使用法について</p> <p>【時刻表の基本的使用方法】 JR列車時刻の調べ方 列車の乗り継ぎ 車両編成・席番配置図 運賃料金の算出(基本・早見表) 会社線・国内・国際航空・高速バス・フェリーの引き方</p> <p>【時刻表の実践的な技術習得】 総合演習問題による実践的な学習 ・索引地図、列車時刻、会社線 ・特急列車、乗継割引、その他サービス</p> <p>【時刻表のより実践的な技術習得】 乗継早見表と運賃料金早見表の実務的技術習得 ・新幹線と在来線 ・通常期・繁忙期・閑散期 ・普通車指定席・自由席・グリーン車</p>			
成績評価 方法	下記成績評価基準に基づく			
成績評価 基準	A: 授業理解度90%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 授業理解度 70%以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可			

学生へのメッセージ

時刻表の使い方を学び、お客さまへ素早く適切な提案ができるようになります。

シラバス(授業計画)

科目名	自己表現Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	響 丈				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・無	ボイストレーナーとして企業研修など実務経験あり。			
授業概要	入社試験の面接を突破するためには、自分自身が思っていること、持っている熱意をきちんと伝えることが重要です。ところが、それをうまくできる人はなかなかいません。自分自身をきちんと表現し、伝える技術を学びます。				
到達目標	入社試験の面接の際に、自身の思っていることをきちんと伝えられるようになる。				
検定資格	なし				
教科書 教材	プリントを配布				
授業計画	<p>【ボイストレーニング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えるとは ・腹式呼吸 ・口の開け方 ・発声練習 <p>【日本語の基本】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝わる話し方 ・抑揚のつけ方 ・表情のつけ方 <p>【実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原稿読み ・面接練習 <p>【インプロビゼーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心の殻を破る ・自主性を持って行動する。 ・機転の利く考え方を学ぶ。 ・恥ずかしさを取る。 ・失敗を恐れずにトライすることに慣れる。 				
成績評価 方法	評価試験は実技・筆記試験の合計で100点とし、授業参加意欲を平常点として評価する。				
成績評価 基準	A: 授業理解度90%以上、出席率90%以上、平常点優 B: 授業理解度70%以上、出席率70%以上、平常点良 C: 授業理解度40%以上、出席率60%以上、平常点可 D: 授業理解度40%未満、出席率60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

伝え方を学んで、自信をもって面接に臨みましょう！

シラバス(授業計画)

科目名	国内観光資源Ⅰ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	観光科トラベル・アウトドアコース、鉄道科鉄道・交通サービスコース		授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	松川 信也			
	実務経験：有・無	元添乗員。観光系の専門学校において旅行や国家試験対策の教鞭実務経験あり。		
授業概要	日本全国の観光資源、郷土文化をテーマ別、季節別に学び、国内旅行の実務を行う上で必要となる知識を幅広く学ぶ。			
到達目標	国内観光地理の全国的・横断的な観点での学習を行い、将来仕事の上で役立つ知識を身につけて他人に説明できるようにする。			
検定資格	なし・必修・任意 名称：日本・旅行地理検定			
教科書 教材	「国内観光資源」(JTB 総研) 「旅に出たくなる地図・日本」(帝国書院)			
授業計画	<p>1. 2024年国内旅行の動向 講師が独自の観点で考察した国内旅行の最新動向をプレゼンテーションする。</p> <p>2. 日本の美しい風景 まず日本人として知っておくべき主要観光資源の美しさを体感しながら学習する。</p> <p>3. 日本の世界遺産 現在日本にある25か所の世界遺産の特徴と魅力を学習する。</p> <p>4. ジャンル別主要観光資源学習<自然景観> ①国立公園 ②湖沼 ③山岳・高原 ④海岸・岬</p> <p>5. ジャンル別主要観光資源学習<文化> ①神社仏閣 ②温泉 ③祭 ④郷土料理</p>			
成績評価 方法	各パート終了ごとに小テスト実施し、平常点としてカウントする。欠席の場合は0点扱いとなるので注意。期末評価試験も実施し、期末試験、出席率、平常点の総合評価とする。			
成績評価 基準	A: 評価試験 80点以上、かつ 出席率 80%以上、かつ 平常点優 B: 評価試験 60点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点良以上 C: 評価試験 40点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点以上 D: 評価試験 40点未満、または 出席率 60%未満、または 平常点不可			

学生へのメッセージ

国内旅行の“王道”としての重要観光地ばかり、実務上役に立つ国内観光トピックスを取り上げます。楽しく学習しながら知識を深めましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	国内管理者対策Ⅰ・Ⅲ(国内旅行実務)			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数	前期：30時間 後期：30時間
担当	担当講師 舟宝				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	旅行会社にて国内海外実務の経験あり。			
授業概要	JR・貸切バス・フェリー運送・宿泊機関の運賃料金のシステムについて、実務者として必要な知識・技術を身につけるとともに、国内旅行業務取扱管理者試験で必要とされる能力を培い試験対策としていきます。国家試験の合格はもとより、業界で必要とされる知識の習得を目指して学習していきます。 授業内では国内旅行実務に沿ったJR運賃料金の計算などの基礎内容を学習しつつ、過去の問題やプリントで確認していきます。また、毎年間違えやすい問題や勘違いしやすい内容を繰り返し学習し本番までに問題に慣れていきます。				
到達目標	国内旅行業務取扱管理者試験を受験する際に必要な知識の習得				
検定資格	なし・必修・ <u>任意</u> 名称:国内旅行業務取扱管理者試験				
教科書 教材	「JR時刻表」(交通新聞社) 「国内運賃・料金」(JTB総研)				
授業計画	<p>【JR運賃の基本原則】 JR各社について 幹線と地方交通線について 運賃の異なる会社間について 通過連絡運輸、連続運賃について</p> <p>【JR運賃計算の特例】【各種割引運賃】 特定区間、特定都市発着の運賃について 往復割引、学生割引について 団体割引運賃について</p> <p>【JR料金システム】 JR料金の基本的な考え方について 新幹線の特急料金について・在来線の特急料金について 特急料金の変動について 山形・秋田新幹線の料金について</p> <p>【その他のJR営業規則】 有効期間、払い戻し手数料について</p> <p>【その他業種の各種運賃料金】 貸し切りバス運賃料金について フェリー運賃料金について 宿泊料金について</p>				
成績評価 方法	授業内で小テスト実施、授業理解度は全ての小テストと評価試験を総合評価で判断 出席率、授業参加意欲も評価する				
成績評価 基準	A: 授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	国内管理者対策講座Ⅱ・Ⅳ(業法・約款)			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	立石 智之				
	実務経験：有・無	旅行業界にて実務経験あり。セールスや内勤、コールセンター等で9年経験。			
授業概要	「旅行業法」は旅行会社とお客様との間にトラブルがないよう国と旅行会社の間で定められた『法律』です。「旅行業約款」は旅行会社とお客様と旅行を契約する上での『約束事』です。どちらも具体例をあげながら“旅行業界のルール”を楽しく学習し、過去問を解いて次年度必修で受験する予定の国家試験対策を行います。				
到達目標	国内旅行業務取扱管理者試験を受験する際に必要な知識の習得				
検定資格	なし・必修・任意 名称：国内旅行業務取扱管理者				
教科書 教材	「旅行業法及びこれに基づく命令」(JTB総研) 「旅行業約款、各種運送約款・料金」(JTB総研)				
授業計画	<p>【旅行業の目的・定義・種別、登録の申請・拒否】 法令とは？旅行業法の目的、旅行業の定義、旅行業の除外規定 旅行の種類、旅行業法の種別と業務の範囲 他</p> <p>【旅行業の有効期限・営業保証金、料金揭示や約款、取引条件等】 旅行業の有効期限、旅行業の事業の開始時期、営業保証金額、追加供託 旅行業務取扱管理者の選任、職務、外務員証 旅行取扱料金の揭示、旅行業約款の認可、契約条件説明、契約書面について 他</p> <p>【旅行業約款の定義】【募集型企画旅行の定義・契約の締結・書面・契約内容の変更】 標準旅行業約款、標準旅行業約款の構成 適用範囲、特約、用語の定義、手配代行者、通信契約 契約の申込み、拒否事項、契約書面と確定書面の流れ、確定書面の交付期限 他</p> <p>【募集型企画旅行の契約の解除・団体・グループ・旅程管理・損害賠償・旅程保証】 旅行者の解除権、旅行業者の解除権、払い戻し、団体・グループ契約、契約責任者 旅程管理、旅行業者の指示、添乗員等の業務、旅行業者の責任、旅行者の責任 旅程保証、保証対象外の事由、変更補償金の支払い 他</p> <p>【募集型企画旅行の特別保証規定、受注型企画旅行契約の部、手配旅行契約の部、通信契約関連】 参加中の定義、種類と補償額、特別補償の対象外、定義、流れ、契約締結の拒否、解除、変更 契約の主体、定義、手配債務の終了、拒否、解除、変更、通信契約、契約の成立、支払い、契約書面等</p>				
成績評価 方法	小テスト、期末テストの点数(授業理解度)と出席率、平常点のすべてにおいて基準を満たすものを評価とする。				
成績評価 基準	A: 授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	観光業界ガイドⅠ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース		授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：2単位	時間数 前期：15時間 後期：30時間
担当	中山 健也			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	鉄道業界での業務経験あり。		
授業概要	<p>将来、観光業界で働きたいと希望している学生に対し、観光業界ってどのような仕事があるのか？どのような会社があるのか？を学んでいただきます。</p> <p>特に1年生後期から就職活動がスタートしますので実際の就職活動を見据え、“幅広い業界知識”を身に付けます。</p> <p>お客様に一生に一度の「感動」を約束する仕事、それが観光業です。</p> <p>夢に向かって業界について学んでいきましょう。</p>			
到達目標	後期の業界受験対策や就職活動に向けて、実際の企業や求人を確認しながら将来を決めていく準備を行い、より自分に合った就職先・業界を見つけてもらいます。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書 教材	なし(別途プリント等を用意)			
授業計画	<p>【観光業界を知る！】 授業の目的を確認した上で、観光業界全体像を把握し各業界との結びつきや関係性を理解してもらう。</p> <p>【仕事・会社の種類を知る！】 各業界の職種、主な業務内容を把握し会社名や各会社の特徴を捉えて目指す会社を決めるための知識を得てもらいます。 また各業界の卒業生を呼んで、現在行っている職種や会社の事を聴く機会を設けます。</p> <p>【業界を学ぶ！】 各業界の視察等を入れ、実際の職場に触れ合い業務を学ぶ。</p> <p>【業界調査を行う！】 各分野に分かれてHPや店舗・施設を見学し、お客様としての視点や業界を目指す学生としての視点を交えながらグループで分かれて調査内容を報告してもらいます。他のグループでも気になった箇所があれば、後々自分自身で調べる事も出来ます。</p>			
成績評価 方法	下記成績評価基準に基づく。			
成績評価 基準	<p>A: 授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B: 授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良</p> <p>C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>			

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	鉄道CS接客演習Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期:1単位 後期:1単位	時間数	前期:15時間 後期:15時間
担当	響 丈				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	鉄道業界にて駅務、車掌、運転士として実務経験あり。			
授業概要	<p>鉄道業界は第一に「安全」を追求しています。少子化やコロナによる旅行控えや、テレビ電話(会議)の普及等による出張控えなどの影響により、電車・列車自体での乗車率は減少傾向にあるようです。そのため、各社、乗車率を上げるというよりも、観光(旅行)や駅ナカ等、運輸業以外のサービス業・流通業・不動産業といった多角化経営にさらに力を入れています。各社とも「安全」を土台としたうえで、お客さま満足を高めるためのサービスに取り組んでいます。</p> <p>この授業では、鉄道業界のサービスを中心とした顧客対応やクレーム処理をケーススタディで学んでいきます。</p>				
到達目標	<p>鉄道業界全般において、利益確保のための工夫を検討し、安全・混雑緩和対策の一層の充実やCSレベルの向上、事故や災害の発生時に、迅速で適切な対応を取るためのリスクマネジメントやチーム力の強化を目的とします。</p>				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	プリントを配布				
授業計画	<p>【基礎知識】 CSとは？(なぜCSが必要なのか) お客さまが求めるCS 鉄道会社の顧客対応(各社での取り組みの違い) クレームとは？(なぜクレームが起きるのか) クレームとコンプレイン 敬語・ビジネス用語の基本</p> <p>【CS対策】 CSの追求(お客様に満足していただく為に、何をどのように提供していくのかを考え、それを達成するための仕組みを作りあげる活動を考える)</p> <p>【クレーム対応】 クレーム対応を具体的に例題を挙げ、正しい対応を考える。</p> <p>【改札業務】 乗車券の種類や精算方法を知り、改札での精算・案内業務を体験・実習する。</p>				
成績評価 方法	<p>期末に学科・実技の評価試験を行う。 出席状況、授業参加意欲は平常点として評価し、期末試験の結果と合算して評価する。</p>				
成績評価 基準	<p>A: 評価試験 90 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>				

学生へのメッセージ

現在の鉄道会社にとってCSは、どの部門においてもかなり重要な施策になっています。
今のうちにCSについて学び、考えていきましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	バリアフリー		科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース		授業形式	演習
実施期	1年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	担当講師			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無			
授業概要	サービス介助士資格の取得を目指し、事前学習と試験対策を行う。			
到達目標	サービス介助士の事前課題を完成させ、提出する。筆記試験の合格を目指して知識を定着させる			
検定資格	なし・ <input checked="" type="checkbox"/> 必修・任意 名称：サービス介助士(公益財団法人 日本ケアフィット共育機構)			
教科書 教材	サービス介助士テキスト（検定代金を含む）			
授業計画	<p>【高齢社会の現状を知る】 高齢社会の現状の理解(高齢化率、平均寿命、少子化) 社会の法整備について(バリアフリー法、障害者差別解消法) ホスピタリティ・マインドの理解 ノーマライゼーションの理解 障害の社会モデルの理解 介助の心構え</p> <p>【高齢者について】 加齢による機能低下について 高齢者への接遇方法の理解</p> <p>【自立支援】 身体障害者補助犬法の理解 身体障害者補助犬使用者への接遇方法の理解 ユニバーサルデザインとバリアフリーの理解</p>	<p>【障害の理解】 車いす使用者への接遇方法の理解 聴覚障害者への接遇方法の理解 視覚障害者への接遇方法の理解 知的障害・発達障害・精神障害者への接遇方法の理解</p>		
成績評価 方法	下記成績評価基準に基づく。			
成績評価 基準	A: 授業内期末試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点良好 B: 授業内期末試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点良好 C: 授業内期末試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点普通 D: 授業内期末試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点不良			

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	デジタルスキル I・II			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数	前期：30時間 後期：30時間
担当	長谷川 慶太				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	イベント業界・ブライダル業界で SNS を運用した集客を担当			
授業概要	実際に SNS アカウントを運用して集客に結び付くような授業 動画作成・写真撮影等の技術向上				
到達目標	・SNS 運用に対する技術向上。				
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	参考資料配布				
授業計画	<p>【著作権】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SNS 投稿時の注意点や危険性を学びます <p>【動画撮影・作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に動画を撮影し、編集、作成まで行います <p>【写真撮影・編集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に動画を撮影し、編集、作成まで行います <p>【SNS 投稿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通年を通して SNS 投稿を行い集客の難しさ、楽しさを学びます。 				
成績評価 方法	出席状況、小テストによる理解度判断。提出物、授業態度、参加意欲も評価。				
成績評価 基準	A：出席率 90%以上、実技試験（理解度）80%以上、提出物・平常点 優 B：出席率 80%以上、実技試験（理解度）70%以上、提出物・平常点 良 C：出席率 60%以上、実技試験（理解度）60%以上、提出物・平常点 可 D：出席率 60%未満、実技試験（理解度）60%未満、提出物未提出、平常点 不可				

学生へのメッセージ

どこの企業でも SNS を運用して集客するのが普通になってきました。
個人で運用している時と、企業で運用しなければいけない時の違いを身に付けましょう

シラバス(授業計画)

科目名	鉄道受験対策			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	1年 後期	単位数	後期：1単位	時間数	後期：15時間
担当	立石 智之				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	鉄道業界を目指す皆さんにとって、就職試験は大きな挑戦になります。 鉄道業界を受験する際に実際に行われている試験を行うことにより受験の準備をし、受験の流れや実際に行われている試験を体験することでより就職活動への意欲を高め、試験への準備を整えましょう。				
到達目標	鉄道会社の試験がどのようなものか理解をし、自身の就職活動に生かす。 各会社からの求人が来た時に、すぐに活動を始めることができるようにする。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	すららネット(Webによる国語、算数、英語の学習ツール) 必要によりプリント用意				
授業計画	<p>【鉄道業界の入社試験について】 鉄道会社の試験がどのようなものか理解をする クレペリンとは・クレペリン試験 筆記試験・解説 SPI・適性検査</p> <p>【企業説明会、企業研究】 SPI・企業説明会参加時のマナー 卒業生の話 企業研究の仕方・企業研究・クレペリン解説 企業研究</p> <p>【企業研究】 企業研究 面接練習(基礎・応用) クレペリン試験 来年度の鉄道業界の求人について</p> <p>【AI学習ツールの利用】 AIを利用した学習ツールを利用し、個人の理解に合わせて 弱点の克服を行う</p>				
成績評価 方法	小テスト、期末テストの点数(授業理解度)と出席率、平常点において基準を満たすものを評価とする。				
成績評価 基準	A: 授業理解度 90%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 授業理解度 80%以上、出席率 80%以内、平常点良 C: 授業理解度 60%以上、出席率 60%以内、平常点可 D: 授業理解度 60%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

--